

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年1月15日

協議会名:富山県生活路線バス協議会

評価対象事業名:地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富山地方鉄道株式会社	滑川 富山駅前～滑川駅前	利用実態に即して、平日を0.5回減回した。運輸収入は増加した。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 今年度の利用者数は、116,300人で前年度比105%となり、利用者が増加した。	ダイヤが利用実態に見合っているか更なる検証が必要である。
富山地方鉄道株式会社	猪谷 富山駅前～猪谷	ICカードの周知に努め、定期外収入の6割がカード利用となった。細入・大沢野地区からの利用者が増加し、運輸収入が増加した。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 今年度の利用者数は、147,772人で前年度比106%となり、利用者が増加した。	旧細入地区の過疎化の進展が進むなか、いかに維持運営していくかが課題である。
富山地方鉄道株式会社	大泉經由五百石 富山駅前～五百石駅前	ICカードの周知に努め、定期外収入の6割がカード利用となった。運輸収入が増加し、今年度黒字に転化した。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 今年度の利用者数は、153,420人で前年度比106%となり、利用者が増加した。	今後も黒字を維持できるよう新たな利用促進策の検討が必要である。
富山地方鉄道株式会社	富山～新高岡 富山駅前～新高岡駅前	高岡駅行きのうち、平日37本中24本、休日29本を新高岡駅まで延伸した。運輸収入も増加した。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 高岡駅止まりを含む今年度の利用者数は、252,564人で前年度比108%となり、利用者が増加した。	乗降調査では延伸区間の利用者が少なく、運行を維持するための利用促進施策が必要である。

富山地方鉄道株式会社	富山～小杉 富山駅前～小杉駅前	ICカードの周知に努め、定期外収入の6割がカード利用となった。利用実態に即して、平日を0.5回減回した。運輸収入は増加した。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	今年度の利用者数は、119,311人で前年度比103%となり、利用者が増加した。	沿線の学校に通学する利用者増加に努めるため、ダイヤの見直しや定期券施策を検討する。
富山地方鉄道株式会社	山田 富山駅前～山田行政センター	ICカードの周知に努め、定期外収入の6割がカード利用となった。利用実態に即して、牛岳温泉健康センター1往復を山田止まりとした。運輸収入は増加した。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	今年度の利用者数は、93,670人で前年度比109%となり、利用者が増加した。	旧山田地区の過疎化の進展もあり、いかに維持運営していくかが課題である。
富山地方鉄道株式会社	ファボーレ経由萩の島 富山駅前～富山駅前	ICカードの周知に努め、定期外収入の6割がカード利用となった。ショッピングセンター利用客が増加し、運輸収入が増加した。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	今年度の利用者数は、75,535人で前年度比106%となり、利用者が増加した。	ショッピングセンターへの利用者に利便性の高い運行を提供する。
富山地方鉄道株式会社	富山国際大学(市民病院経由) 富山国際大学(開発経由) 富山駅前～富山国際大学	ICカードの周知に努め、定期外収入の6割がカード利用となった。沿線学校の利用者や富山市南部地区の利用者も増加し、運輸収入が増加した。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	今年度の利用者数は、178,637人で前年度比101%となり、利用者が微増した。	沿線の学校に通学する利用者増加に努めるため、ダイヤの見直しや定期券施策を検討する。
富山地方鉄道株式会社	月岡団地経由福沢 富山駅前～福沢	ICカードの周知に努め、定期外収入の6割がカード利用となった。福沢地区・月岡地区からの利用者の増加がみられ、運輸収入も増加した。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	今年度の利用者数は、125,224人で前年度比104%となり、利用者が増加した。	現在の運行回数を確保しつつ、公共交通への利用促進に取り組む。
富山地方鉄道株式会社	熊野経由八尾 富山駅前～八尾鏡町	利用実態に即して、平日を0.5回減回した。運輸収入は増加した。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	今年度の利用者数は、200,197人で前年度比103%となり、利用者が増加した。	ダイヤが利用実態に見合っているか更なる検証が必要である。

富山地方鉄道株式会社	城端線 富山駅前～城端行政センター前	砺波市、南砺市地区から富山市中心部への通勤・通学利用者の利便のため、平日4往復運行し利用者は増加傾向にある。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	今年度の利用者数は、110,203人で前年度比102%となり、利用者が増加した。	運賃の見直しによる収支バランスの改善が必要である。
加越能バス株式会社	脇 起点:高岡駅前 終点:脇	高頻度の路線本数を維持、確保し、また高齢者に利用しやすい割安の定期券を設定し、運輸収入も増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている。	A	今年度の利用者数は、129,698人であり、前年度と比べて約2%程度増加した。利用者数の維持・向上が図られている。	一部を新高岡駅まで延伸し、ダイヤの見直しを行い、潜在的な利用者の掘り起こしを行なった。収支改善に努める。
加越能バス株式会社	氷見中田 起点:高岡駅前 終点:中田	中田地区の要望を受け、延伸し利便性向上を図ったが減少した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	B	今年度の利用者数は、41,564人であり、前年度と比べて約1%地域住民の利用者が減少しており、今後もさらに利用維持を図っていく。	一部を新高岡駅まで延伸し、ダイヤの見直しを行い、市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行なった。収支改善に努める。
加越能バス株式会社	守山経由氷見 起点:高岡駅前 終点:氷見市民病院	高頻度の路線本数を維持、確保し、また高齢者に利用しやすい定期券の値下げを実施し、運輸収入も増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	B	今年度の利用者数は、122,882人であり、前年度と比べて少子化による通学利用等により減少しているが、新高岡、済生会病院まで延伸した別系統と合わせると約11%増加している。	一部を新高岡駅、済生会病院まで延伸し、市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、今後も収支改善に努める。
加越能バス株式会社	新高岡守山経由氷見 起点:済生会病院 終点:氷見市民病院	新幹線開業に合わせて、新高岡経由を新設した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	新幹線開業に合わせて守山経由氷見線を延伸した新規系統路線。利用者は42,130名であり、守山経由氷見線と合わせると前年より利用者は増加している。	新高岡駅、済生会病院まで延伸し、市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、今後も収支改善に努める。
加越能バス株式会社	高岡・坪池 起点:高岡駅前 終点:坪池	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRし、運輸収入も増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、86,554人であり、前年度と比べて約14%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	一部を新高岡駅まで延伸し、ダイヤの見直しを行い、市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	伏木経由氷見 起点:済生会病院 終点:氷見市民病院	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRし、運輸収入も増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、43,589人であり、前年度と比べて約13%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院まで延伸し、利便性向上を図る。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、今後も収支改善に努める。
加越能バス株式会社	高岡ふしき病院経由氷見 起点:済生会病院 終点:氷見市民病院	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRし、運輸収入も増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、43,105人であり、前年度と比べて約18%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院まで延伸し、利便性向上を図る。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、今後も収支改善に努める。

加越能バス株式会社	仏生寺 起点: 済生会病院 終点: 氷見市民病院	高頻度の路線本数を維持、確保し、また高齢者に利用しやすい定期券の値下げを実施し、運輸収入も増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、94,786人であり、前年度と比べて約5%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院まで延伸し、利便性向上を図った。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	石動 起点: 済生会病院 終点: 石動駅前	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRし、運輸収入も増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、48,913人であり、前年度と比べて約20%程度増加した。利用者数の維持・向上が図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院経由へ変更し、利便性向上を図る。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	小泉・中田団地經由中田循環 起点: 高岡駅前 終点: 高岡駅前	新路線への統合により、利用者にわかりやすく、新高岡駅経由として利便性向上を図った。	A	新系統へ統廃合		今年度の利用者数は、8,380人であった。3/10 統廃合により廃止	
加越能バス株式会社	水戸田・中田団地經由中田循環 起点: 高岡駅前 終点: 高岡駅前	新路線への統合により、利用者にわかりやすく、新高岡駅経由として利便性向上を図った。	A	新系統へ統廃合		今年度の利用者数は、8,387人であった。3/10 統廃合により廃止	
加越能バス株式会社	小泉・済生会經由中田循環 起点: 高岡駅前 終点: 高岡駅前	新路線への統合により、利用者にわかりやすく、新高岡駅経由として利便性向上を図った。	A	新系統へ統廃合		今年度の利用者数は、8,139人であった。3/10 統廃合により廃止	
加越能バス株式会社	小泉・水戸田經由中田循環 起点: 高岡駅前 終点: 高岡駅前	新路線への統合により、利用者にわかりやすく、新高岡駅経由として利便性向上を図った。	A	新系統へ統廃合		今年度の利用者数は、8,626人であった。3/10 統廃合により廃止	
加越能バス株式会社	済生会・中田団地 起点: 高岡駅南口 終点: 中田中学校前	平成27年度に新系統に統廃合したため、前回の事業評価なし。	A	4系統の廃止路線を統合し運行開始	A	今年度の利用者数は、25,836人であった。	利用者ニーズにあった運行系統、ダイヤの見直しを行い、また、利用しやすい乗車券を発売することで潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	石瀬・牧野・海王丸パーク 起点: 済生会病院 終点: 海王丸パーク	新規系統のため、前回の事業評価なし	A	海王丸パークと新高岡駅を結び新たに運行開始	A	今年度の利用者数は、22,562人であった。	利用者ニーズにあった運行系統、ダイヤの見直しを行い、また、利用しやすい乗車券を発売することで潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	職安・富大附属病院 起点: 職業安定所前 終点: 富山大学附属病院	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRした	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、67,744人であり、前年度と比べて約20%程度増加した。利用者数の維持・向上が図られている。	小学生などの利用者ニーズにあった運行系統、ダイヤの見直しを行い、潜在的な利用者の掘り起こしを行い、今後も収支改善に努める。

加越能バス株式会社	加越 起点:石動駅前 終点:庄川町	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、また沿線にある高校生の利用減により運輸収入は減少した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	B	今年度の利用者数は、43,242人であり、前年度と比べて約12%沿線の通勤通学利用が減少しており、今後もさらに利用維持を図っていく。	利用者ニーズにあった運行系統、ダイヤの見直しを行い、また、利用しやすい乗車券を発売することで潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	砺波立野脇 起点:砺波市役所前 終点:立野脇	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRしたため運輸収入は若干減少した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	B	今年度の利用者数は、36,274人であり、前年度と比べて少子化による通学利用が若干の減少したが、微減にとどまっており、利用者の維持が図られている。	利用者ニーズにあった運行系統、ダイヤの見直しを行い、また市町村と協力し、潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	城端白川郷 起点:城端駅前 終点:白川郷	H26.10.1より「世界遺産バス」として観光と生活路線として運行。集客増となった。	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、46,068人である。新幹線開業に合わせて4往復から6往復へ増加。	H26.10.1～世界遺産バスとして本格運行。今後も市町村と連携し、通院、通学の足として維持運営していく。
加越能バス株式会社	庄川町 起点:高岡駅前 終点:庄川町	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRし若干増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、67,203人であり、前年度と比べて約4%程度増加した。利用者数の維持・向上が図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院経由へ変更し、利便性向上を図る。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	小牧 起点:高岡駅前 終点:小牧堰堤	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRし若干増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、55,188人であり、前年度と比べて約2%程度増加した。利用者数の維持・向上が図られている。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院経由へ変更し、利便性向上を図る。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	戸出団地 起点:職業安定所前 終点:砺波総合病院前	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRしたため運輸収入は減少した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	B	今年度の利用者数は、51,704人であり、前年度と比べて約10%地域住民の利用者が減少しており、今後もさらに利用維持を図っていく。	全運行を乗り換えなく新高岡駅、済生会病院経由へ変更し、利便性向上を図る。市町村と連携し潜在的な利用者の掘り起こしを行い、収支改善に努める。
加越能バス株式会社	若林 起点:砺波市役所前 終点:石動駅前	高齢者に利用しやすい定期券の値下げも行い、PRし運輸収入は増加した	A	計画どおり事業は適切に実施されている	A	今年度の利用者数は、27,475人であり、前年度と比べて約7%増加しており、利用者数の維持・向上が図られている。	イオン砺波店が沿線上に開業し、その特性を強化し増収に努める

西日本ジェイアールバス株式会社	系統名:名金線 運行区間:金沢駅～森本駅～福光駅	新型車両を導入し、修繕費・燃料費等の経費削減に努めた。また、北陸新幹線開業に合わせて平成27年3月に導入した交通系ICカードサービスの周知により、利便性の向上を図り、利用者の増加に努めた。	A	計画通り適切に実施された	A	北陸新幹線開業に伴う観光利用の増加や、交通系ICカードサービスの導入により、利用者数が前年度に比べ約10%増加した。	ノンステップ車両(新車)を導入し、修繕費・燃料費等の経費削減に努める。また、全社的に、車両に安全運転支援システム(サラウンドアイ)を導入し、安全性並びに輸送品質の向上に努める。
-----------------	-----------------------------	--	---	--------------	---	--	--